

私たちがつくる 私たちの新しいまち③7

復興にむけた 平成29年度の 取り組み

防衛団地・区画整理事業の事業予定

大槌町では、平成29年度も、引き続き復興事業を進め、まちづくりを進めてまいります。町方地区や吉里吉里地区では、防集団地や区画整理事業による宅地整備が終了し、寺野臼澤団地も年度内にはすべて完成予定です。安渡地区・赤浜地区では二渡神社裏団地や東大洋洋研裏団地などの防集団地の引き渡しや区画整理事業が進む予定です。

町全体では、今年度末に防集宅地は計画全体の約97%、また区画整理事業では宅地面積の約99%が使用できるようになる予定です。

今年度は、町全体の復興事業が進み、町の形が見えてくる年になります。

町方地区の区画整理事業は、年度末までには、順次すべての宅地が使用できるようになるほか、御社地エリアに整備が進められている図書館などの復興拠点施設や大槌の駅前広場、御社地公園などの地区内の公園も利用できるようになります。

また、末広町の商店街も営業を再開する店舗がある予定で、今後の賑わいが期待できます。

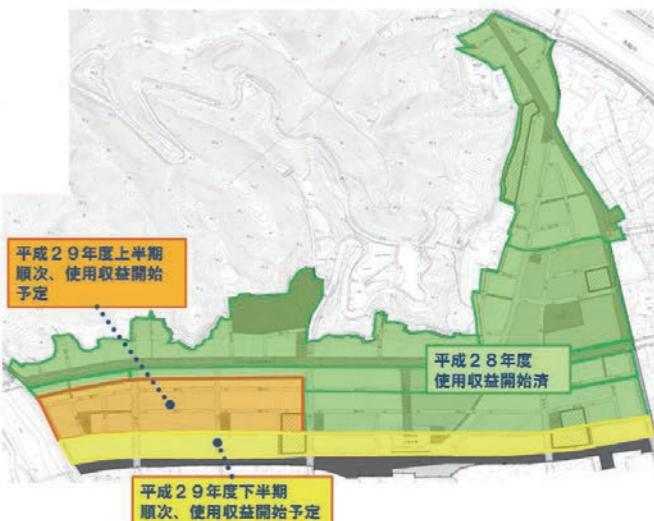
また、すでに沢山、小枕団地が完成しているほか、区画整理地内の防集団地も順次引き渡しされ、年度内にはすべての防集団地が引き渡しされる予定です。

「方地区末広町の状況

野臼澤団地(第3期)の整

は、現在第一期工事
仕事第三期分（34戸）
の工事が行われて
います。この第三
期分は、年度内に
は引き渡し予定と
なつており、また、
団地内の公園を含
むすべての工事が
年度内に終了予定
です。

卷之三



【安渡地区】



安渡地区の区画整理事業は、順次、宅地が使用できるようになり、年度末には約9割の宅地が使用できるようになります。また、二渡神社裏団地、古学校団地など防集団地は平成30年度上半期には順次すべての宅地が引き渡しされる予定です。



【赤浜地区】



赤浜地区の区画整理事業は、順次、宅地が使用できるようになり、年度末にはすべて使用できるようになります。また、防集団地については東大海洋研裏団地が上半期には引き渡しされる予定です。このほか、地区内の県道吉里吉里釜石線も年度内には開通予定となつています。



【吉里吉里・浪板地区】



区画整理地の宅地が順次使用できるようになりますが、住宅の建築が進んでいます。半期には、すべての用地が使用できるようになります。

なお、吉里吉里・浪板地区は、すでにすべての防集団地・漁集団地の造成工事が終了しています。



ふ報おおつち 2017.4